

労働局「指導・助言」に対し信じられない回答が!?

高橋さんは「家庭事情を考慮して欲しい」旨を何度訴えても会社の姿勢が変わらないため、労働局に相談に行き、「労働局長の助言・指導」の申し出をしました。

申し出に基づいた労働局の問い合わせに対し仙台支社は、「奥様の体調が悪いことを把握していませんでした」「コミュニケーション不足でした」という驚くべき回答をしたのです。

あれだけ訴えたのに「コミュニケーション不足」? 個人面談は「重要なコミュニケーションの場」じゃないの?

これは、**管理能力を疑わざるを得ない**事態です。

夫婦2人の職場でそれぞれ状況を把握していなかったという事なのでしょうか?勤務状況も把握されていなかったのでしょうか?個人面談も把握されていなかったのでしょうか?まさか虚偽報告があったとは思いたくありません。「現場と支社間」「支社と新幹線統括本部間」何処に原因があるのでしょうか?あるいは、個人面談での社員の話を受け入れられない他の理由があるのでしょうか!?

みなさん!!このような状況での異動を受け入れられるのでしょうか?**社員と家族の健康・幸福を奪いかねないような事象を強行する現実に対して、指をくわえてみている訳にはいきません!**私たちの将来をつくるのは私たちです!私たちの会社を良くするのも悪くするのも私たちです!

J R ひがし労はあらゆる攻撃に対して、組合員の力を結集してたたかいます!

**安全・健康・職場・仲間・自分を守るために
J R ひがし労に結集しよう!**